

今を越えて、さらなる飛躍へ！

愛知県議会議員

自由民主党蒲都市支部長

ひだ常年の 県政 かわる版

1月	
1日(日)	元朝式
3日(火)	第4回蒲郡東高校6回生同窓会
6日(金)	蒲郡警察署感謝状贈呈式
8日(日)	蒲郡市消防出初め式 蒲郡市成人式
10日(火)	自民党県政調査会 県政振興調査会 蒲郡商工会議所新年交礼会 三河繊維産元協同組合新年交礼会
11日(水)	自民党県政調査会 農林水産振興調査会 自民党県政調査会 教育治安調査会
12日(木)	自民党県政調査会 産業振興調査会 日新鋼管視察 自民党県政調査会 健康福祉調査会
13日(金)	自民党県政調査会 社会基盤整備調査会 自民党県政調査会 地域振興環境調査会
14日(土)	自民党県政調査会 青年部街頭演説
16日(月)	県議会 地域振興環境委員会県内調査 リニア 鉄道
18日(水)	自民党政調会
20日(金)	県議会 文教委員会 県内調査
23日(月)	自民党政調会
24日(火)	名古屋港管理組合決算特別委員会
31日(火)	三菱自動車岡崎工場見学



福島県釜石市災害ガレキ視察



自民党街頭演説 蒲郡アピタ前にて

2月	
1日(水)	四者会談
4日(土)	農林水産祭 みかんワイン完成発表会
6日(月)	県議会 一・二・三会視察調査
7日(火)	県議会 一・二・三会視察調査
8日(水)	県議会 一・二・三会視察調査
9日(木)	日中国交正常化40周年記念特別講演会
10日(金)	自民党議員総会
11日(土)	国道23号蒲郡バイパス神ノ郷トンネル貫通
12日(日)	三河湾健康マラソン大会
14日(火)	市長・県議 建設部・公社要望会
16日(木)	大塚地域づくり視察研修会
17日(金)	国会要望活動および勉強会 私立幼稚園振興推進大会
19日(日)	自衛隊協力会三河連合会新年交歓会
22日(水)	拾石町コミュニティ会館竣工式
25日(土)	自由民主党時局講演会
27日(月)	小牧基地および同周辺上空視察
28日(火)	県議会 代表質問
29日(水)	県議会 一般質問



蒲郡みかんワイン完成発表会

3月	
1日(木)	県議会 本会議 一般質問
2日(金)	県議会 本会議 一般質問
4日(日)	オイスカ愛知県支部30周年記念大会
6日(火)	県議会 本会議 議案質疑
7日(水)	県議会 本会議 議案質疑
8日(木)	県議会 本会議 議案質疑
10日(土)	豊川駐屯地 音の祭典
11日(日)	消防団観閲式
12日(月)	名古屋港管理組合 議員総会 名古屋港管理組合 国際競争力特別委員会
13日(火)	県議会 地域振興環境委員会
14日(水)	県議会 地域振興環境委員会
17日(土)	ラグーナ蒲郡10周年オープンニングセレモニー
23日(金)	県議会 2月定例議会の閉会
24日(土)	蒲郡市消防団第1分団2班器具庫完成式
25日(日)	チャリレースin西浦
26日(月)	名古屋港管理組合 定例会
27日(火)	名古屋港管理組合 定例会
28日(水)	名古屋港管理組合 定例会
31日(土)	池田浩二選手SG優勝祝勝会



東三河県庁スタート

4月	
1日(日)	南部保育園・蒲郡児童館開所式 水竹町戦没者慰霊祭 蒲郡市消防団新旧幹部歓迎会
2日(月)	東三河県庁スタート式典 安倍晋三氏・青山繁晴氏大講演会 福島県災害がれき視察 大船渡市
4日(水)	釜石市現地視察
5日(木)	釜石市現地視察
9日(月)	県議会 地域振興環境委員会
15日(日)	日越友好愛知県議会議員連盟海外調査
16日(月)	トヨタモーターベトナム視察
17日(火)	三菱重工エアロスペースベトナム視察
18日(水)	ホーチミン市内視察・ベトナム戦争跡地視察
19日(木)	グエンティンチュー病院視察
21日(土)	志多ら全国ツアー「蒼の大地」特別試演会
25日(水)	大塚学区開発委員会
28日(土)	蒲郡竹島旗東海ブロック中学生柔道大会
29日(日)	第12回森の文化祭

5月	
2日(水)	市長との懇談会
3日(木)	蒲郡漁業協同組合水産祭り
7日(月)	自民党東三河県議団懇談会
10日(木)	平成24年度蒲郡みかん指定市場懇談会
13日(日)	蒲郡市民総合体育大会総合開会式 大塚ナイターリーグ開会式
15日(火)	三河港要望会
17日(木)	蒲郡市観光協会定例代議員会
19日(土)	戦没者慰霊祭 愛知大学新名古屋校舎開校記念式典 平成24年度愛知県植樹祭
20日(日)	春の幅豆「友引市」赤い電車応援団
23日(水)	県議会 臨時議会
24日(木)	大塚中学校区青少年健全育成協議会
26日(土)	市長との懇談会
27日(日)	ガマゴオリ・ネパーアイランド上映会
31日(木)	全国みかん生産県議会対策協議会



蒲郡温室みかん出荷協議会であいさつ

6月	
1日(金)	蒲郡国際交流協会理事会・総会
5日(火)	温室みかん出荷協議会
7日(木)	同志会農政部会勉強会
9日(土)	里山を愛する会 植樹祭 麻生太郎講演会
10日(日)	大塚子ども会交通安全教室
13日(水)	東京都災害廃棄物処理支援事業施設視察
14日(木)	穂の国森づくりの会定例交流会
15日(金)	建設委員会所管説明
18日(月)	県議会 6月定例会本会議 開会
20日(水)	県議会 本会議 代表質問
21日(木)	県議会 本会議 一般質問
22日(金)	県議会 本会議 一般質問
24日(日)	消防操法大会出場に伴う操法激励会
27日(水)	蒲郡港湾懇話会 藤川政人君を囲む会
28日(木)	県議会 建設常任委員会
29日(金)	県議会 建設常任委員会



麻生太郎元総理記念講演で支部長あいさつ

この他に、各地区の祭礼・各種団体職域の総会・新年会等に
参加させていただいています。



第92代 小林功議長(豊川市)

毎日東奔西走 暑中お見舞い申し上げます

平成24年度の県予算は大変厳しい財政状況ですが、財政調整基金の取り崩しや職員の給与抑制などを図り、前年比はほぼ同額を確保しました。産業空洞化対策、地震防災対策や環境対策等、本県のさらなる発展と県民の皆様が安心して暮らせるよう活動してまいります。東三河地域においては4月より「東三河県庁」がスタートして、東三河のことは東三河で決めていく、10年後の東三河を決める東三河ビジョン委員会が発足しました。また17年ぶりに東三河より小林功議長も誕生しました。これからの東三河地域、蒲郡市にとって大いに期待したいと思います。

昨年の常任委員会は地域振興環境委員会に所属し、次ページに発言内容を記載させていただきました。平成24年度は建設委員会に配属になり、地域の問題についてしっかり意見と要望をさせていただきます。

毎日いろいろな会に出席させていただき、充実した毎日を送っています。今後も県民の皆様の声を県政に反映すべく活動してまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

編集 後記

6月議会の補正予算で自民党から修正動議を出しました。災害がれき受け入れの件で焼却炉の建設を取り下げたため、地元説明会費用と見学会費用の削除を求めた修正でしたが、知事は納得いかず再議を発令しました。55年ぶりたそうです。7月臨時議会で修正案は否決され、再度原案を審議し、自民党としては他の案件も否決してしまうため可決に転じました。しかしながら、知事は独断的に動きすぎていると思えてなりません。知事と議会は県民の負託を受けた2元代表制であるはずで、これからも是々非々で県政に取り組んでまいります。皆様のご意見をお聞かせ下さい。

ひだ常年事務所

〒443-0048 蒲都市緑町5-19
TEL. 0533-68-1288 FAX. 0533-68-1286
E-mail. joenen@sk.aitai.ne.jp URL. http://hidatsunetoshi.mie1.net/



愛知県議会2月定例会一般質問

1.観光振興施策について

(1) 県の観光振興予算を大きく拡充すべきと考えるが、県の考え方を伺う。

A. 平成24年度においては県の一般財源、緊急雇用創出事業基金によって財源を確保し「おもてなし愛知県民会議」を通じてしっかり取り組んでいく。

(2) 現在、中国からの修学旅行誘致について期待されると思うが、どのように取り組んでいるのか。

A. 今後、中国から海外への修学旅行は大きく拡大すると見込まれ、具体的には江蘇省等において旅行社にプロモーション活動を推進し、浙江省からは昨年度27校1,500名以上の来県者があった。本年度は東日本の風評被害を受け減少しているが、多くの修学旅行生に来県いただけるよう全力を尽くす。

(3) 県はグルメや温泉などの地域資源を活用した観光振興をすべきと思うが、どのように取り組んでいるのか。

A. 今年から地域の観光業者・団体が企画提案する、地元ゆかりの観光資源を活用した旅行商品の造成やその情報発信の試みを支援する。本県の新たな観光の魅力を発掘・発信し、県全体の観光振興と地域経済の活性化につなげる。

(4) 県として、豊川市で開催される「B-1グランプリ」に対し、どのような支援を行うのか。

A. 第8回全国大会が平成25年秋に豊川市で開催されることは県内外から観光客の誘致に取り組む県として喜ばしい。観光プロモーション活動において、情報発信、旅行会社に対し当該イベントを組み入れた旅行商品の造成を働きかける。県内の各市町村が有する多様な観光資源を併せてPRし、本県全体の観光振興につなげる。

(5) 本県も観光立県宣言をする意気込みで、観光振興に取り組むべきである。愛知県の観光振興のために、今後知事はどのようにトップセールスを行っていくのか。その決意を伺う。

A. 具体的には、昨年8月、韓国・中国を訪問し政府や観光関係者等に対し、当地の安全情報と観光の魅力を直接PRした。観光プロモーションPTでは国際会議の、国連ESDの最終年会合当地開催を実現した。今後、武将観光や名古屋めしといった当地ならではの観光資源のPRを行う。

2.農業振興施策について

(1) 県は「あいち花フェスタ」について、今後どのように進めていこうとされるのか。

A. 県民の花への関心を高めて需要の拡大を図り、その地域の生産振興や生産者との交流を促進することが目的で、平成24年度から東三河、西三河、知多と県内各地を持ち回りで開催予定。今年「ラグーナ蒲郡」で実行委員会を組織して開催し、県民参加による地域全体で盛り上げる。今後「全国都市緑化フェア」の開催に向け花卉業界と連携協力のもと庁内あげて取り組んでいく。



議案質疑での要望



おもてなし武将隊や戦国姫隊の活躍が期待されます



B-1全国グランプリで県全体の観光振興とまちおこしに



ラグーナ蒲郡で開催される「花フェスタ」に期待



2004年浜名湖での花博

2月定例会県議会議案質疑質問要旨

第8款 農林水産費 第1項 農業総務費／あいちの農林水産物輸出拡大戦略事業費について

●農林水産業の所得の減少が懸念されている今日、今後積極的に輸出を拡大していくことが必要である。特に中国・上海への輸出促進に向け、どのように取り組んでいくのか

A. 新たな市場として有望な中国上海への輸出促進に取り組み、マーケティング調査を行う。来年度は中国上海において愛知フェアを開催し、バイヤーを対象に商談会や知事のトップセールスを実施し、本県の農林水産物や加工食品の輸出促進を図る。



みかん等輸出品目を増やすよう要望しました

第36号議案 「県民の生活環境の保全等に関する条例の一部改正」について

●温室効果ガス排出削減について県内で操業している事業者が対象であるが影響はどうか

A. 今回の制度の見直しは計画書の提出単位を事業所から事業者とすることで、小規模の事業所を多数保有し、合算すれば基準以上になる事業者も対象になることで業務部門の温暖化対策を促進できる。

平成23年度◎地域振興環境委員会での発言

1.名鉄西尾・蒲郡線存続について

●平成24年度の「名鉄西尾・蒲郡線維持対策費特別補助金」とし西尾市と蒲郡市に対して8300万円補助予算を計上しているが、年間輸送人員の目標達成度合に応じ補助率で調整とは？

A. 当初の目標1.6倍の伸び率に達しない場合は減額になる。

●25年度以降の県の対応については？

A. 決まっていないので24年度中に西尾市蒲郡市と調整して決定する。

名鉄西尾・蒲郡線は、三河南部の生活交通に必要不可欠な道路と同じ社会基盤として捉え、地域の足を守る覚悟で臨んでいるため、継続補助の要望をした。

2.設楽ダム建設推進について

●平成24年度の水没地域予算として99億9千9百万円が計上された。今後の進捗は？

A. 県民に情報を広く提供し、理解を深めるため設楽ダム連続公開講座を開催する。

設楽ダムは39年前から検討し、すでに治水・利水とも議論は尽くされているはずである。東三河、特に蒲郡市にとっては県水に生活用水・農業用水・工業用水すべて100%依存している。

反対する理由はない、建設は東三河全体の悲願である。よって建設推進の要望をした。

3.東日本大震災災害廃棄物広域処理について

●災害廃棄物(がれき)2250万トンのうち400万トンは広域で処理をお願いしたいと国から要望があったが、県の対応は？

A. 100万トンを愛知県で受け入れたいと知事は発表した。

●放射性セシウムの国の基準は出ているが、県の基準はいつ出すのか？

A. 早急に出す予定である。(現在は100ベクレル以下と出している)

●受け入れの承諾もない専決処分の6億円の根拠は？

A. 県内3カ所の仮置き場・焼却炉・最終処分場の建設の調査費用と基準を決める検査費用・アセスメント費用等である。

県内の3カ所(田原市豊田工場・碧南市火力発電所・知多市名港第5工区)を指定して、住民の理解が得られるか疑問である。みんなで痛みを分かち合おうという気持ちはわかるが、今まで何も行動しなかったのに、今回相談も無しに拙速に動くのか理解できない。私は昨年の6月議会の委員会ですでに愛知県もがれき処理に積極的に動くよう要望していた。

平成24年度予算案の主な骨子

県の新年度予算案 2兆2546億円

予算規模

総額	一般会計	特別会計	企業会計
3兆2,150億円 (1.4%増)	2兆2,546億円 (0.6%減)	7,515億円 (4.1%増)	2,089億円 (15.5%増)

愛知県の新年度の当初予算案は、一般会計で2兆2546億円。総合的には、前年度とほぼ同額規模だが、東日本大震災や円高が税収減を招き、1800億円の財源不足の解消に苦心しながらの予算編成となった。

一方、1800億円の財源不足解消のため、積み立てていた「減債基金」を1167億円取り崩し、自治体の貯金に当たる「財政調整基金」からも52億円を取り崩した。そのため、2基金の残高は計1億6千万円とほぼ底をつき、人件費や投資的経費を削減するなか、福祉医療の事業費増や後期高齢者医療の負担金などの予算は増大。県は厳しい財政運営を強いられる新年度予算となった。

目的別歳出の状況(一般会計)

